

※ 2014年5月改訂（第7版）
※ 2008年6月改訂

※ 貯 法：室温保存
※ 使用期限：製造後3年（外箱及びラベルに表示）
注 意：「取扱い上の注意」の項参照

日本標準商品分類番号
8 7 2 3 1 8

承認番号	22000AMX00677000
薬価収載	2008年6月
販売開始	1974年2月
再評価結果	1982年1月

胃内有泡性粘液除去剤

* バリトゲン[®] 消泡内用液 2%

Barytgen[®] Antifoaming Solution 2%

（ジメチコン内用液）

※ 【組成・性状】

1. 組成

本剤は1mL中にシリコーン樹脂20mgを含有する。
添加物として、キサンタンガム、ソルビタンセスキオレイン酸エステル、ポリソルベート80、安息香酸、サッカリンナトリウム水和物、pH調節剤、香料を含有する。

2. 製剤の性状

本剤は白色～淡黄白色の乳剤である。

【効能又は効果】

胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去
胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善
腹部X線検査時における腸内ガスの駆除

※ 【用法及び用量】

- 胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去に使用する場合：
検査15～40分前にジメチルポリシロキサンとして、通常成人40～80mg（本剤2～4mL）を約10mLの水とともに経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
- 胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善に使用する場合：
ジメチルポリシロキサンとして、通常成人1日120～240mg（本剤6～12mL）を食後又は食間の3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
- 腹部X線検査時における腸内ガスの駆除に使用する場合：
検査3～4日前よりジメチルポリシロキサンとして、通常成人1日120～240mg（本剤6～12mL）を食後又は食間の3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

(1) その他の副作用

	0.1%～5%未満	0.1%未満
消化器	軟便、胃部不快感、下痢、腹痛、嘔吐、嘔気、胃部重圧感、食欲不振	
その他		頭痛

【薬効薬理】^{1)～3)}

ジメチルポリシロキサンは生理学的に不活性な物質である。ジメチルポリシロキサンはガス気泡の表面張力を低下させることにより破泡させ、遊離気体に合体させる。この遊離気体はおくびや放屁となって体外へ容易に排泄される。

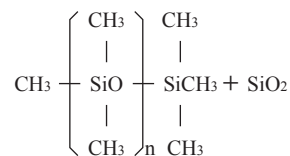
※ 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：シリコーン樹脂

化学名：Polydimethylsiloxane・Silicone Dioxide Mixture

（ジメチルポリシロキサン・二酸化ケイ素混合物）

構造式：



性 状：無～淡灰色で、透明若しくは半透明の粘稠な液体又はペースト状の物質で、ほとんどにおいが無い。

※ 【取扱い上の注意】

1. 安定性試験⁴⁾

- 最終包装製品を用いた安定性試験の結果、バリトゲン消泡内用液2%は通常の市場流通下において、使用期限までの間安定であることが推測された。
- よく振って使用すること。
 - 使用期限内に使用すること。（使用期限内であっても開栓後は速やかに使用すること。）

※ 【包 装】

300mL

※ 【主要文献及び文献請求先】

（主要文献）

- 1) J.Alfred Rider, et al : J.A.M.A., 174(16), 2052(1960).
- 2) J.Alfred Rider : AP-DT, 11(1), 52(1960).
- 3) Donald C.Ausman : J. Am. Geriatr. Soc., 13(4), 307(1965).
- 4) 社内資料

（文献請求先）

伏見製薬株式会社 営業企画部
〒164-0013 東京都中野区弥生町2-41-5
TEL 03-5328-7801
FAX 03-5328-7802